

石尊山（1668M）登山

2012.10.25（木）佐藤さんと

10/24（水）晴れ 勤務終了後（15：55）三才山トンネル～R.18 経由で 17：45 小諸グランドキャッスルホテル（泊）

10/25（木）晴れ 8：10～8：40 追分登山口 8：52～11：40 石尊山山頂 12：00～15：18 登山口 15：30～17：50 帰宅

長和町の佐藤さんとは県難聴協の仲間。今年の春先に鹿教湯温泉に泊まって交流する約束だったが、私の都合などで実現しなかった。彼とは趣味が合う。旅行・登山・ドライブ好きなど。やっと交流を含めて実現した。チョット時間的に制約されて十分ではなかったが。（彼はパソコンに詳しいので教えてもらいたい事など沢山あったが）18：00からの夕食バイキングに辛うじて間に合う。食べ放題・飲み放題なので3時間近く色んな話をしながら食べて・飲む。伊東園グループは安くて良い。宿泊優待券を持参したのでたったの6800円。9000円も取る山小屋がつくづく高く感じる。部屋に戻ってもパソコンでお互いの写真を見たりで私はとうとう入浴しなかった。宿に泊まって入浴しないのは初めてかも。25日は暖かくて無風で晴れの登山日和。登山口には10台位の車で満杯。

追分登山口

案内表



登山道はほぼ真っ直ぐに緩い勾配で伸びている。紅葉も始まっている。一般車通行止めの林道を4本横切って歩くので歩きではある。でも気持ちが良い歩き易い登山道である。血の滝付近の沢の水は何とも言えない色をしている。山頂手前で上田市からの中老年グループの20人位に追いつく。道理で長野ナンバーの車が多かった。狭い山頂は昼食で賑やかになる。（我々は何と食べ物は何も持ってこなかった。500MLのスポドリを各自2本のみ）帰路の循環道を探すが見あたらない。山梨ナンバーで来た？山慣れした感じの女性の4人組の一人も一緒に探すがお互いに諦める。山頂からは真ん前に浅間山、左横に黒斑山。右側には懐かしい浅間隠山・鼻曲山・妙義山などが連なる。遠く榛名山方面も。ススキも咲き風流な景色だ。下山時に座禅窟に寄る。標識が朽ち果てている。場所が分からない。かすかな踏み跡（獣道風）を登ってみるとすぐあった。

赤滝（血の滝）



軽井沢町の文化財だと言うのに呆れた。登山道にある案内板もかなり古い物が多かったが、もう少し町の予算を使えないものか？大した額ではない。別荘・アウトレットだけが観光ではないはず。首都圏からのハイカーも多いのだから。駐車場も狭かった。

血の滝上の洞窟・石仏



みもじの紅葉



浅間山



土地はかなり余裕があったが、整地してないだけ、仕方なく近くの学校関係の別荘に駐車したら下山したら張り紙されていた。管理人が不在のようだったが、私の同類項が多いので委託されている人が巡回しているようだ。週末は登山者は何処へ駐車するのだろうか？余計な心配をした。）きのこが沢山出ていた。

宝庫といっても良い位沢山あった。虚無僧（ショウゲンジ）が多く、キイシメジ・シモフリもあった。あつと言う間に沢山採れる。

佐藤さんは高校で山岳部。東京で働いていた時に日本百名山を90座位登っている。残りが北アルプスのようなので完登達成するように言う。何年ぶりかの里山登山。紅葉と落ち葉を踏みしめての里山登山も良いものだ。とうとう下山まで（結果的には帰宅まで）何も食べずじまい。

石尊山山頂にて



チョット里山を舐め過ぎた。反省。
（前夜食いだめしたせいもある）
帰宅して新聞を見たらなんと軽井沢町追分のシモフリシメジから規定を超えたセシウムが検出されたと書かれている。最初から食べる気が無かった妻曰く「誰も採らないから、沢山あったのだ」私も県下では佐久・軽井沢地区の食物、きのこから検出される事は知っていたが予想以上の数値で驚いた。

座禅窟

目に見えない放射能は本当に怖いし気持ちが悪い。人間が制御できない原発はやはり「なくてもええじゃないか」だ。

